

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. D-43

<b>部門名：</b> 校内研修プログラム開発・実践部門	<b>エントリー名：</b> 大阪教育大学附属池田中学校
<b>活動名：</b> 可視化された校内研修      副題【見える化された事後研究協議会】	
<b>解決すべき課題：</b> 事後研究協議会で参加者全員の意見を聴き共有することができない。  本校は研究開発校であることや教育実習校ということもあり、校内研究授業回数がある。  大きな課題は 2 つ ① 参観者全員の声を聞くことが難しい。(実習生や若手教員が発言しにくい。) ② 授業を受けた生徒の意見を全体に共有することができない。 (生徒の感想や反応を瞬時に参観者に共有すること)	
<b>目標・方針：</b> 効果的な研究協議会の持ち方  <b>参観者、授業者、生徒の意見が事後研究協議会で参加者全員が共有し、話し合いを深めること</b>	
<b>活動内容：</b> ICT (Google フォームアンケート) を活用して一斉共有  校内研究授業 (特別の教科 道徳) において、授業後、生徒・参観者に Google フォームで作成したアンケートに感想や振り返りを授業後に記入してもらい事後研究協議会ですぐに使用した。	
<b>活動の成果：</b> 生徒の意見や感想が数値として即座に出るため、客観的根拠に基づいて協議会が行うことができた。(図 1) 事前に参観者の意見が共有 (モニターやスクリーンを通して) できるため、事後研究協議会で参観者の意見を大切にしたい、柱立てを行い、協議会を進めることができる。多面的多角的な見方・考え方を行うことができた。(図 2) 参観者全員の意見を大切にしながら研究協議会を進める方法を確立することができた。	
<b>アピールポイント (アイデアや工夫)：</b> ※3~5 つ程度、箇条書きしてください <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存性 (授業者の分析材料) 共有性 (個の意見→全体へ広げる) 即時性 (授業後すぐ) に優れる。</li> <li>・数値や意見が可視化されたため、話し合いが進みやすい。(図 1・2・3 の比較など)</li> <li>・参観者自身の見方・考え方が広まる。(自己と他者、自己と生徒など)</li> <li>・特別の教科道徳では、自己認識が大切である。アンケートに自己評価を行うことが重要と考える。(図 1)</li> <li>・アンケートは無料で簡単に作成することができ、QR コードを使用すれば配布も容易である。</li> </ul>	

(図 1) 生徒の回答

① 自分自身のことを見つめ、自分ごととして考えようとしたか。  
36 件の回答

② 多面的・多角的に考えようとしたか。  
36 件の回答

④ 自分の考えが広がったり、深まったりしましたか。  
36 件の回答

⑤ 上の④で、はい・どちらかといえば はい と答えた人は、どの部分ですか。(複数選択可)  
35 件の回答

(図 2) 参観者の回答

① 本時は、生徒が自分自身のことを見つめ、自分ごととして考えようとする授業になっていましたか。  
18 件の回答

② 本時は多面的・多角的に考えられる授業展開でしたか。  
18 件の回答

④ 参観者自身の考えが広がったり、深まったりしましたか。  
18 件の回答

⑤ 上の④で、はい・どちらかといえば はい と答えた人は、どの部分ですか。(複数選択可)  
17 件の回答

参観者からの感想や意見 (図 3)

**ご感想**  
11 件の回答

生徒が積極的に発言しているのが印象的でした。

自分自身のこととして考えられる展開で薄い、と思いました。

中心発問について一見解らないような導入から始まるのが面白かったし、「思いやりをもって生きましよう。」じゃないのがよかった。薄い内容の授業しかできなかったのが、勉強になった。

すこ子供たちに身近なテーマだったと思います。

今回の授業は三好先生がどのようなねらいのもとで考えられたのかが分からなかったのですが、「おもいやり」は受ける側とする側があると思っていて、今回の授業では受ける側に焦点を当てていたと思いました。思いやりのある行動をする側の考えとして、そろそろ思いやりとはなにかを定義するという活動も深く考えさせられるのでいいのではないかと思います。

三好先生の発問や板書等、すこ勉強になりました。ありがとうございました。

この前の道徳の授業はパズルのピースを散りばめていって最後にはめたいな感じでしたが、今日は出口の見える洞窟を歩くみたいな感じの印象を受けました。しっかり段階を踏んで説明しておられたのが最終的に着地の思いやりに気づけたポイントだと思います。前回の授業では、伝統文化との関わりがそこまでないため上手にパズルを完成させることが出来なかったと思います。体育祭の後などでやられているらもう少し自分と結びつけて考えることができたのではないかと思います。

「思いやりは気持ちいい」というまとめの入り方に驚いたのと、確かにそうだなと新たな視点を得られた気がします。気持ちいい思いやりを振り返ること、生徒たちが自分事として捉えて考え直すことができている、周りの人たちがどんな思いやり行動しているのか(他の人の思いやり)を考えることができていたと思います。後進を

**ご意見・ご指摘・ご助言**  
3 件の回答

どうして気付かれないように電気を付けていたのか。という問いの生徒の回答の板書を視覚的にわかりやすいように、シンキングツールを使われていると思うのですが、自分の意見や考えをいうのではなく、先生が求めるその空欄を埋める解答を答えてしまっているのではないかと思います。

- ・意図(廊下と反対側)の列から黒板を見たとき、導入の話を板書のところが光で反射して見にくかったです。
- ・教科書の話をきいてそれをしっかり読み取るということ自体は生徒が理解する上でとても大切なことだと思ってるのですが、どんな気持ちなのかを考え、発表に時間を少しかけていたところが小学校の国語の授業のように感じる部分もありました。
- ・生徒が挙手している生徒を当てるとい部分は、いただいたプリントを讀んだので工夫をすれば同じ生徒でぐるぐる回るといことは起きないと思っもの、「どうして気づかれないようにしたの？」という発問に対して女子生徒が多く挙手していたが、男子生徒で回答を回しているのを感じてから挙手をしなくなっていた(諦めた?)ところが気になりました。
- ・最初に目に見える(自分が認識している)思いやりを聞いて、授業を通して思いやり気づかない可能性が高いことを知り、それをふまえて最後に見えない思いやりについて振り返ることがあってもいいのかなとも思いました。例えば、もしかしてあげて思いやりだったのかな?とか。
- ・題材が思いやりについてだったので多角的に考えるということは難しいなと思いました。